

○4番（諏訪一則議員） 4番諏訪一則でございます。議長にお許しをいただきましたので、通告順に従い質問いたします。

常陸太田市長に当選されました宮田達夫市長に心からお祝い申し上げます。今後、常陸太田のかじ取りとして、確かな市政運営をご期待申し上げます。

宮田市長は公約として4つの項目を挙げております。

1つ目は、安心安全なまちづくりについて。

2つ目は、健康で快適な市民生活の実現について。

3つ目は、少子化・人口対策について。

4つ目は、活力ある産業づくりについてであります。

そこで、宮田市長の目指す常陸太田市、自治体の長としてどのような市政運営をしていくのか、何点か伺いたいと思います。

今日まで常陸太田は、「幸せを感じ、暮らし続けたいと思うまち 常陸太田」をキャッチフレーズに少子化対策をはじめとする、様々な施策を展開してきましたが、昨年発生しました新型コロナウイルスにより、産業、経済、財政に至るまで、転換期を迎え、大きな岐路に立たされようとしております。

そこで1つ目として、宮田市長の目指す市政運営において、市長の市政における判断と責任についてはどのように考えているのか、伺いたいと思います。

2つ目として、新型コロナウイルスの影響による市内経済の現状、今後の市内経済の安定に向けたまちづくりに必要な支援はどのようにしていくのか、伺いたいと思います。

3つ目として、企業誘致等による雇用の場の確保が大事であるが、どのような企業誘致を考えているのか伺いたいと思います。

4つ目として、若者が帰ってきて生活できる基盤づくりにつきましては、所信表明の中でも市長が述べておられますように、東部土地区画整理事業によります買物環境の改善や雇用の場の確保と併せて、若者の定住や交流人口の拡大を図るため、引き続き商業施設などを立地誘導していただき、若い世代が生活できる基盤づくりとして、魅力あふれる市街づくりが進められますことをご期待申し上げます。

また、商業者につきましても、就業支援など様々な取組が必要になってまいります。

農業につきましても、新たな担い手や地域おこし協力隊の活用や事業を継承するといった取組は課題でもありますが、取り組んでいくべき必要な施策と考えておりますので、ぜひ市長の思いを職員の皆様、酌んでいただき、若者を呼び込む施策を積極的に展開していただければと思います。答弁は、所信表明で聞きましたので不要でございます。

5つ目として、予算の立て方の考え方についてでございますが、所信表明におきまして、現状分析を心がけ、従来の事業の見直しを行いながら、今やるべき施策は新たな予算を確保すると述べられておりますように、限られた予算で有効な施策を展開していくためには、行政組織として、スクラップ・アンド・ビルドなどの事務事業の見直しも必要なことであると考えます。考え方を

理解いたしましたので、これも答弁は不要でございます。

6つ目として、基幹産業である農業政策に関して、本市の方向性につきまして、どのようにお考えになっているのか、お伺いいたしたいと思います。

以上4点につきましてお伺いし、1回目の質問を終わりにいたします。ご答弁のほどよろしくお伺いいたします。

○川又照雄議長 答弁を求めます。市長。

〔宮田達夫市長 登壇〕

○宮田達夫市長 私から、市政における判断と責任につきまして、お答えいたします。

一昨日の所信表明でも述べさせていただきましたが、このたびの市長就任に際しましては、多くの方々にお会いし、市政に対する期待や要望を直接お伺いすることができました。

これらを受けまして、市政における判断といたしましては、今、何が必要か、何が求められているのか、市民との意見交換の機会をできる限り創出しまして、市民の声に耳を傾け、納税者である市民の視点に立つことを市政運営の判断としてまいります。

市政における責任につきましては、一般論としては、行政の責任は客観性の担保ということになると思います。しかし、私の市民に対するものとしては、市民の命と健康を守り、市民が笑顔で安心して暮らせる生活を守り、将来を担う若い世代に負担を残すことなく、持続可能な常陸太田を実現していくことが私の責任であると考えております。

なお、議員からご質問がございました具体的な施策につきましては、就任時における各部長との事務協議の際に私の考えを伝えてございますので、関係部長からご答弁をさせていただきたいと存じます。

○川又照雄議長 商工観光部長。

〔中野亘商工観光部長 登壇〕

○中野亘商工観光部長 市政運営についての2つのご質問にお答えいたします。

②新型コロナウイルスの影響による市内経済の現状、今後の市内経済の安定に向けたまちづくりに必要な支援策についてのご質問にお答えいたします。

初めに、新型コロナウイルスの影響による市内経済の状況についてでございますが、長引くコロナ禍により、幅広い業種について影響が出ている状況でございます。民間事業者がコロナ関連の無利子融資を受ける際に、市が業種、市内にある事業所であること、売上減少等を認定するセーフティネット保証、危機関連保証の件数は、令和2年度の実績で495件と多くの商工業者が様々な融資を活用している状況にあります。

売上減少の大きい業種としては、それぞれ平均値で申し上げますと、観光業や理・美容業等の生活関連サービス業で47.8%の減少、宿泊飲食サービス業で44.8%の減少、バス・タクシー等の運輸業で36%の減少、卸売小売業で35.3%、製造業で32.8%の減少となるなど、業種を問わず、売上等に影響が出ている事業者が多い状況でございますが、本市におきましては、現在までに新型コロナウイルスの影響により、市内で倒産や大量解雇の事例は生じていない状況でございます。

次に、今後の市内経済の安定に向けたまちづくりに必要な支援についてでございますが、今議会の補正予算につきましても、県の営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金の対象とならない、本年1月または2月の売上げが前年または前々年同期比で20%から50%未満の減少となっている事業者に対し、1事業者当たり一律10万円を支給するための予算を計上しております。また、商工会が行う新型コロナウイルス対策事業に対しまして補助を行っており、コロナ禍で影響の大きい飲食店と交通事業者が連携したデリバリーサービス事業の実施が検討されている状況でございます。商工業は、当市において重要な産業基盤の1つでありますことから、今後の状況を見極め、国、県の動向を十分注視しながら、積極的な支援を行ってまいります。

次に、③雇用の場の確保が大事であるが、どのような企業誘致を考えているのかについてのご質問にお答えいたします。

企業誘致の適地といたしましては、現在整備が進んでおります東部土地区画整理事業用地の他、工業団地、廃校施設等がございます。この中で、東部土地区画整理事業用地におきましては、買物環境の改善や女性雇用の場の創出が図られ、定住人口の維持につながるよう、市民が望む魅力ある商業施設や市民の利便性向上につながる企業に対する誘致活動を行ってきております。

この他、工業団地のうち、一部の分譲中となっております区画においては、雇用の確保につながる企業の誘致を図り、また、廃校等の事業適地につきましても、地元活性化につながる企業の立地に向けて、県等の関係機関と連携して情報収集を行い、積極的な誘致活動を実施しているところでございます。

○川又照雄議長 農政部長。

[根本勝則農政部長 登壇]

○根本勝則農政部長 基幹産業である農業政策に関して、本市の方向性についてお答えいたします。

本市の農業政策につきましては、第6次総合計画前期基本計画に基づき、中山間地域の特性を生かした農林水産業の振興を図るため、農業生産基盤の整備や収益性の高い高品質な農産物の生産振興、6次産業化の推進、道の駅を活用した販売促進等、農業者の所得向上と地域産業の活性化につながる様々な事業に取り組んできたところでございます。

そのような中で、農業者の高齢化等による離農者が年々増加傾向にある中、担い手不足と農地の維持が大きな課題となっており、地域をいかに維持し、次の世代に継承していくかが重要でありますことから、将来に向け、活力の源である新たな担い手づくりと農地の維持、有効活用について重点的に推進してまいりたいと考えております。

本市の農業の中核を担っている認定農業者は、令和3年3月末現在で146名となっており、そのうち65歳以上が75名、全体の51.3%で、高齢の農業者の割合が高い状況にあります。また、新規就農者につきましては、平成28年度から令和2年度までの5年間で7名の方が市内で就農しておりますが、そのうち2名の方が総務省の地域おこし協力隊制度を活用して就農したものでございます。

本市におきましては、これまで新規就農者への支援策といたしまして、就農相談、初期経費軽

減のための中古農機具購入補助や国の農業次世代人材投資資金、家賃助成、U・I・Jターン就農奨励金の交付等を実施してまいりました。

今後におきましては、活力ある農業の担い手づくりを目指し、引き続き、国、県等の補助金を活用した事業推進に努めるとともに、法人組織や集落営農を含む担い手の育成や事業継承への支援等について取組を強化してまいりたいと存じます。

農地の維持・有効活用につきましては、基盤整備の推進、農地中間管理機構を活用しました農地の集積・集約を進めますとともに、地域での話し合いを進めながら、担い手と農地の問題を解決するための未来設計図となる人・農地プランの実質化に向けた推進を行うなど、農地の有効利用を促進してまいります。

また、市内の中山間地域においては、後継者不足等による耕作放棄地も増えている状況にありますが、ブドウ、梨、常陸秋そば、肉用牛等の産地の維持と高品質化、高付加価値化を図る取組を支援する一方で、有害鳥獣対策の強化など、必要な対策も実施してまいります。

今後の方向性としていたしましては、将来の地域農業の在り方を見据え、新たな担い手づくりを重点的に進めますとともに、本市の魅力ある農畜産物等の生産振興、販売促進を図り、持続可能で活力ある産業づくりを推進してまいります。

○川又照雄議長 諏訪議員。

〔4番 諏訪一則議員 質問者席へ〕

○4番（諏訪一則議員） ただいまご答弁をいただきありがとうございました。宮田市長の目指す常陸太田市、自治体の長としての市政運営につきましては、理解いたしました。宮田市長の目指す常陸太田市の市政づくりのために、市民の英知を結集し、多様化するまちづくりに市民の意識を高め、宮田市長の目指すしっかりとしたビジョンの下に地域の発展を目指し、市政は市民のためにを旨とし、市民が主役の市政実現を図ることを目指す方向であることを期待しております。

以上をもちまして、私、諏訪一則の一般質問を終わります。